



施策・事務事業マネジメントシート【令和6年度】

1 施策の基本情報

施策名		13 市民スポーツの振興
目的	対象	市民
	意図	誰もがスポーツに親しみ、楽しむことができる スポーツを通して交流がはぐまれる 誰もがスポーツを通して心身ともに健康になる
施策の方向		年齢や障害等を問わず、広く市民がスポーツに親しみ、楽しめる環境を整備します。また、ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーを継承・発展させ、スポーツを通して市民の交流が盛んになるまちを目指します。

2-1 施策全体の考察①（施策の目的、方向に対する考察）

施策の目的、方向に対する考察

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、施設の運用やスポーツイベント等における感染症対策が緩和され、体育施設の年間利用者数やスポーツ実施率が向上し、市民がスポーツに触れる機会が増加した。今後は、スポーツ施設の老朽化対応、安全確保を踏まえた改修などのスポーツ施設の整備のほか、次世代アスリートの支援活動等を行うことで、スポーツ環境の整備を整えていく。また、調布市スポーツ協会事業の引き続きの支援によるスポーツ振興の推進、東京2020大会を契機としたパラスポーツの普及・啓発、障害当事者の運動機会の創出や障害理解の促進への取組などを更に推し進め、目標値の達成を目指す中で、共生社会の充実を図っていく。また、FC東京をはじめとするトップスポーツチームとの連携においては、読売巨人軍との協働協定締結などパートナーシップの強化により、連携事業数が増加し、市民スポーツの振興を図ることができた。今後はトップスポーツチームとの更なるパートナーシップの強化により、市民スポーツの振興はもとより、様々な分野での連携したまちづくりに取り組んでいく。

2-2 施策全体の考察②（まちづくり指標の推移／考察）

まちづくり指標	単位	基準値 (基準年度)	実績値 (R5年度)	目標値 (目標年度)	指標の推移 (※)	考察
体育施設の年間利用者数	人	80万1,908 令和3年度	83万8,153	106万 令和8年度	▼	・新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが5類に移行したことに伴い、基準年度である令和3年度からは増加しているが、総合体育館の屋内プールを長期休館した影響により、令和4年度からは減少している。
運動を週に1回以上行っている市民の割合	%	69.0 令和4年度	72.9	73.0 令和8年度	○	・新型コロナウイルス感染症の感染症対策が緩和されたことに伴い、令和4年度と比較すると増加している。
FC東京等スポーツチームとの連携事業数	件	39 令和3年度	60	180 令和5～令和8年度 の4年間累計	○	・FC東京との連携については、青赤ストリートの継続実施に伴うクラブとの連携強化や、庁内プロジェクトチームの効果的な活用、クラブ設立25周年に係る連携事業の実施などにより令和5年度の事業数は増加した。今後も組織横断的な連携の下、各種スポーツチームとの接点を作りだし、更なる連携を促していく。

※ ◎：目標達成 ○：目標値を未達成（前年度より向上した） ▼：目標値を未達成（前年度より低下した） ⇒：目標値を未達成（前年度と同じ又は前年度数値未把握） -：数値未把握（調査未実施など）

3 施策を構成する基本計画事業等の取組実績／今後の方向

■13-1 スポーツ環境の整備

No	基本計画事業名	R5取組実績	R5取組説明	今後の方向	今後の取組の方向
48	スポーツ施設の整備	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し	・市民が安全で快適にスポーツ施設を利用できるよう、各施設の整備・維持管理を実施した。 ・修繕件数：25件 西町野球場内野グラウンド不陸修繕 他 ・工事関係：総合体育館プールトップライト等改修工事、基地跡地運動広場A6・D2グラウンド整備工事、西町サッカー場シャワー設備設置工事 他	<input type="checkbox"/> 現状継続 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 参加と協働改善	・今後も快適で安全な魅力あるスポーツ施設とするため、利用者ニーズに沿った利用環境の向上に努め、施設の保全・改修等を行う。 ・施設の老朽化対応、安全確保を踏まえた今後の改修について、市民要望も踏まえて検討・調整に取り組む。

基本計画事業以外の主要な取組実績	今後の取組の方向
①多摩川児童公園内運動施設内のサッカー場における不陸の修繕を行うことにより、利用環境の向上を図った。 ②総合体育館の防犯カメラ設備について更新を図ることにより、施設内外における利用者の安全確保に寄与した。 ③「国際・全国スポーツ大会出場報奨金」について、様々な競技計64件の報奨金を交付し、次世代アスリートを支援した。	①ミストシャワーの設置による熱中症対策や、グラウンドの不陸整生、グリーンダスト舗装化などにより、利用環境の向上を図る。 ②スポーツ施設の適切な維持保全により、利用者の安全・安心の確保を図る。 ③「国際・全国スポーツ大会出場報奨金」の活用促進はもとより、応援アスリート制度の普及・啓発を行うことで、次世代アスリートのさらなる支援を図る。

■13-2 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

No	基本計画事業名	R 5 取組実績	R 5 取組説明	今後の方向	今後の取組の方向
49	調布市スポーツ協会事業の支援	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し	<ul style="list-style-type: none"> 市民体育祭、スポーツまつり等の主要事業が全て開催され、広く市民のスポーツレクリエーション活動の普及を図った。 リフレッシュ体操スクール事業では、市内9会場29クラスを実施し、市民の運動習慣のきっかけづくりに寄与した。 スポーツボランティアについて、151名の新規登録、20の事業での活用を行い、スポーツの担い手育成を図った。 	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 参加と協働改善	<ul style="list-style-type: none"> 市民スポーツ大会（旧市民体育祭R6年度から名称変更）、市民スポーツまつり等の主要事業を継続的に実施し、さらなる充実を図る。 リフレッシュ体操スクールの継続的な実施はもとより、R6年度は新規事業としてまちなかスポーツパークを実施し、より充実したスポーツ機会の創出を図る。 市主催事業でのスポーツボランティアの積極的な活用を行うことでさらなるスポーツの担い手育成を図る。
No	基本計画事業名	R 5 取組実績	R 5 取組説明	今後の方向	今後の取組の方向
50	【重点④】 東京2020大会等のレガシーの継承・発展	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ協会、指導室と連携し、ジュニア陸上体験教室を実施。子どもたちの体力の向上、スポーツへの関心を高めた。 調布市障害者スポーツの振興における協議体の活用による障害当事者の運動機会の確保や、誰もがスポーツに親しみ、楽しむことができる環境づくりに努めた。 多摩地域の広域事業である東京都市町村ボッチャ大会を開催し、インクルーシブスポーツの普及を図った。 	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 参加と協働改善	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ協会、指導室と連携し、ジュニア陸上体験教室の継続的な実施を予定。子どもたちの体力向上、スポーツへの関心をより高める。 調布市障害者スポーツの振興における協議体を活用し、障害当事者の運動機会の確保や誰もがスポーツに親しみ、楽しむことができる環境づくりに努める。 日本フラインドサッカー協会、日本財団パラスポーツサポートセンターとの連携による教育プログラムを実施し、パラスポーツの普及・啓発と障害理解の促進を図る。

基本計画事業以外の主要な取組実績	今後の取組の方向
①調布市応援アスリートとして、8人を認定。市民が一体となって応援し、交流を図ることで市民スポーツの振興を図った。 ②東京2020大会を契機に関係性を構築してきた様々な主体と連携し、障害者スポーツ体験会や車いすバスケットボールC H O F Uエキシビジョンマッチ in むさぶらを実施した。 ③東京2025デフリンピック開催に向け、東京都と連携して周知広報活動を実施した。	①応援アスリートの追加認定、既認定者の更なる情報発信やイベントとの連動などの実施を検討する。 ②パラスポーツ体験会や車いすバスケットボールC H O F Uエキシビジョンマッチ in むさぶらなど様々な主体と連携した事業を継続して実施する。 ③東京2025デフリンピック開催に向け、機運醸成や障害理解、開催支援などに取り組む。

■13-3 FC東京等様々な主体と連携したスポーツ振興等の推進

No	基本計画事業名	R 5 取組実績	R 5 取組説明	今後の方向	今後の取組の方向
51	FC東京等様々な主体と連携したスポーツ振興等の推進	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し	<ul style="list-style-type: none"> FC東京子どもサッカー体験教室等の競技体験を実施することで、スポーツに参加するきっかけづくりを行った。 各チームとの連携にて観戦機会の場を提供することで、市民スポーツの振興を図った。 各チームに関する情報発信を積極的に実施することで、市民がスポーツに触れる機会を創出した。 	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 参加と協働改善	<ul style="list-style-type: none"> 競技体験等の実施について、既存事業を継続的に実施しながら、新規の取組についても実施を検討していくことで、スポーツに触れるきっかけづくりを推進する。 各チームと連携し、引き続き観戦機会の提供を行い、市民スポーツの振興を図るとともに、チームへの愛着を醸成することで、スポーツを核としたまちづくりを推進する。 各チームに関する情報発信を積極的に行うことでスポーツに触れる機会を引き続き創出していく。

基本計画事業以外の主要な取組実績	今後の取組の方向
①FC東京「調布の日」「青赤ストリート」では、地域、関係団体・チーム及び行政の官民連携の下、地域振興等のまちづくりを協働で推進した。 ②FC東京クラブ設立25周年やシーズン開幕に向けた取組などを実施することで、応援機運醸成を図った。 ③東芝ブレイブルーパス東京及び東京サントリートサンゴリアス、調布市を含むホストエリア3市による連携事業を実施した。 ④読売巨人軍との連携による広報大使の任命を行い、市報等の広報媒体での活用を通じて、調布のまちの魅力発信に努めた。	①「調布の日」「青赤ストリート」を継続的に実施することで、引き続き官民連携の下、地域振興等のまちづくりを推進していく。 ②FC東京はもとより、NTT東日本バドミントン部等トップスポーツチームの応援機運醸成にかかる取組を実施することで、市民スポーツの振興を図る。 ③ラグビーチーム2チーム及び調布市を含む3市による連携事業を継続実施する。 ④読売巨人軍広報大使を活用した、市民スポーツの振興及び地域振興に向けた取組を実施する。

4 施策の推進, 成果向上の視点(4つの視点)を踏まえた令和5年度の取組実績及び令和6年度以降の具体的な取組

デジタル技術の活用	共創のまちづくり
<ul style="list-style-type: none"> ・イベント情報や地域スポーツ団体の活動, トップスポーツチームに関する情報について東京調布市スポーツインフォメーション【公式】(Xアカウント)にて情報発信を行った。【令和5年度】 ・スポーツ施設の利便性向上に向けた令和8年度中の施設利用予約システム更新を見据え, 令和6年度においてはGovTech東京による共同調達又は市の独自調達についての検討を進める。また, 施設利用予約システムの更新にあたっては, 利便性向上に向けたオンライン登録の導入, 各種キャッシュレス決済の実装, ペナルティ措置の整理について検討を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・FC東京をはじめとしたトップスポーツチームなどの様々な主体と連携し, 市民がスポーツを「する」「みる」機会を充実させ, スポーツに親しめるよう, 市民スポーツの振興に取り組んだ【令和5年度】 ・民間企業やボランティア団体等との連携により, 市内で開催されるスポーツ大会等において, 市民が支え, 交流する機会を創出し, オール調布でスポーツ機運を高めることによる市民スポーツの振興を図った。【令和5年度】 ・「する」「みる」「支える」の視点からトップスポーツチーム, 民間企業及びボランティア団体等と連携して, 市民スポーツの振興に取り組む。
脱炭素社会の実現	フェーズフリー
<ul style="list-style-type: none"> ・総合体育館屋内プールの工事に伴い, プール内の照明をLED化することにより, 環境負荷の低減を図った。【令和5年度】 ・市民野球場の夜間照明について, 現在のHID灯からLED照明に切り替えることにより, 十分な照度を保ちながら日々の使用電力量を削減するなど, 環境負荷の低減に寄与する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時避難場所である大町スポーツ施設にWi-Fi環境を整備することにより, 普段はスポーツ施設利用者がインターネットを快適に利用できることに加え, 有事の際にも避難してきた方がインターネットを利用できる環境を構築した。【令和5年度】 ・能登半島地震を受けて市で今後導入予定のトイレカーについて, 普段は基地跡地運動広場に配置してスポーツ施設利用者がトイレとして利用でき, かつ有事にはトイレカーを移動して必要な場所で活用できるようにする。